



喜小だより

令和5年10月17日発行 発行者 黒田敦子



自ら学ぶ子 思いやりのある子 健康な子 一人一人がきらきら輝く喜連川小学校

家族の「がんばったね」が一番のご褒美 ～伸びを喜び合って～

2学期が始まりました。1学期は99日（1年生は97日）授業日がありましたが、保護者のみなさんのおかげで児童は毎日元気に登校できました。1学期末には、それぞれの担任が書いた「あゆみ」を持ち帰り、保護者の方もご覧になったと思います。「あゆみ」は、子どもたちが学習した証です。つい評定に目がいきがちですが、指導に関わった教職員は数字や記号に示せない一人一人の頑張りや伸びをよく知っています。保護者の皆さんが見られないお子さんの姿も教職員は見守ってきました。所見には、ご家庭の皆さんに知ってほしいお子さんのよさが書かれています。全校生の「あゆみ」に目を通すと、校長が初めて知る子どもたちの頑張りや優しさを知ることができました。あゆみをもとに、ご家庭でも2学期の児童の更なる目標につなげていただけると幸いです。



★運動会お世話になりました★

P T A理事のみなさんに来ていただいて、9月15日午後6時から運動会合同会議を行いました。ご協力いただきたい内容をお伝えすると、みなさんとても快く引き受けてくださいました。

当日は、朝早くから、万国旗を張ったり、テントを準備したり、優勝旗を渡す打ち合わせをしたりするなどの様々なお手伝いをしてくださいました。テントの後片付けについては、保護者の皆様もご協力くださり、大変ありがとうございました。おかげさまで、応援や準備、片付けなどのおかげで、一人一人の児童がきらきら輝ける運動会を実施することができました。



★第1学期終業式 10月6日★

1学期にがんばったことを3名の児童が発表しました。自分の目標に向かってしっかり学習したことが伝わり、すばらしい発表でした。校長からは、あゆみの内容から児童のよさを伝えました。また、自分や周りの人の人権を大切に認め合って生活することへの期待を話しました。教室で、終業式に参加する態度は、大変立派でした。



★第2学期始業式 10月13日★

はじめに、青少年読書感想文コンクールで入賞した児童の表彰を行いました。校長からの話では、運動会の感動について、2学期はさらに向上するためプラスαの目標を持つこと、友達の心を想像し思いを伝え合って楽しく学校生活をおくること、について話をしました。その後、各教室では、自分の目標を書いたり、係を決めたりする活動が見られました。



★ 児童が輝いた運動会 ～ご声援ありがとうございました～ ★
スローガン ～ きらめく汗と みんなの笑顔 力の限り最後まで ～



10月7日(土)の運動会は、保護者や地域の皆様の応援のおかげで、大変盛大に行うことができました。児童のこれまでの練習の成果が現れた運動会でした。全力で一生懸命に取り組むことの大切さや友達同士が協力し合って成し遂げることの素晴らしさを体験してくれたのではないかと思います。運動会を通して育った力を今後の生活に生かして欲しいと思います。



感動的でした。児童の一生懸命な姿は、実にけることができました。児童の一生懸命な姿は、実に感動的でした。



運動会の競技練習で「ああ、ドキドキする」と、児童は言います。「頑張っってね」という言葉は、あまり気休めにならないことを私も経験から知っています。いくつもの一人で立つ舞台を経て、人には「慣れ」や「覚悟」が備わっていくものなのでしょう。それでも、大人や応援の見守りは、児童の晴れ舞台には欠かせないものですし、見ている人の拍手は、やり遂げた児童の達成感をより高めてくれるものでもあります。

ドクドクと伝わる鼓動 君たちの輝く舞台 見んがため居る

校長室の窓から

162万アクセス突破!



児童の活動の様子は、こちらのQRコードから →



喜小だよりのカラー版は、こちらのQRコードから →

